令和7年度 学校経営計画・自己評価書　　足立区立足立小学校

校長　加藤 憲司

1 学校教育目標

○ よく考えすすんで学ぶ子 ○ やさしさと思いやりのある子 ○ 明るく元気な子

2 めざす学校像、児童・生徒像、教師像

○学校像	足立小学校の理念 「期待の登校・満足の下校」 ○ 全ての子供が学ぶ喜び、友達とかかわり合う喜びを味わえる楽しい学校　⇒「子供にとって安全・安心な学校」 ○ 教職員が一体となって子供の育ちを支え、その成長を共に喜び合える学校　⇒「教職員が高め合う学校」 ○ 保護者が我が子を通わせてよかったと実感でき、地域からも信頼される学校　⇒「保護者や地域とともに子供を育む学校」
○児童像	○ 話をしっかりと聞き、主体的に学び、自分の考えや思いを表現できる児童 ○ 互いの違いやよさを認め、仲良く助け合い、協力し合って活動できる児童 ○ すすんで体を動かし、心身共に健康で自分のめあての実現を目指して努力できる児童
○教師像	○ 全ての児童の実態を的確に把握し、個に応じた適切な指導ができる教師 ○ 児童に求めることは自ら率先垂範し、自ら学び続ける教師 ○ 学校に求められる課題を真摯に受け止め、経営参画意識をもって取り組む教師

3 学校の現状及び前年度の成果と課題

【学校の現状】

開校13年目、「期待の登校・満足の下校」を理念とし、学校教育目標の達成に向けて取り組んでいる。知的障がい特別支援学級や視覚障がい通級指導学級の設置校であることから、一人一人の特性と多様性を大切にした教育を進めている。学力面は、国語の「書くこと」「読むこと」に課題が見られる。また、児童の約3割は学区域外に居住していることからも、登下校等の安全・安心な学校づくりの推進が重要である。

【前年度の成果と課題】

「学校に行くのが楽しい」と肯定的に回答をした児童の割合は 88.1%であった。「期待の登校・満足の下校」をより充実していくため、否定的な回答をした子供が、「学校に行くのが楽しい」と思えるようにしていくことが課題であり、家庭、地域、関係機関と一層の連携していくことが重要である。

4 重点的な取組事項

	内　　容	実施期間（年度） R:令和				
		R5	R6	R7	R8	R9
1	学力向上アクションプラン	○	○	○	○	○
2	安全・安心な学校づくりの推進	○	○	○	○	○
3	保護者や地域と共に子供を育む活動の充実	○	○	○	○	○

5 令和7年度の重点目標

重点的な取組事項－1	学力向上アクションプラン

A 今年度の成果目標	達成基準 （目標通過率）	実施結果 （通過率結果）	コメント・課題	達成度 ◎○△●
確かな学力の定着	・区調査目標通過率 85% ・到達度確認テスト 80%			

B 目標実現に向けた取組み

新規・継続	アクションプラン	対象学年 実施教科	頻度・ 実施時期	具体的な取り組み内容 (誰が、何を、どのように)	達成確認 方法	達成目標 （＝数値） (いつ・何を・どの程度)	実施結果	コメント・課題	達成度 ◎○△●
1 継続	授業の充実	全学年 全教科	年間	足立スタンダード虎の巻に基づく授業の定着とICT機器及び一人1台端末、SP表等の活用	自己申告 授業観察 単元テスト	実施率 100%			
2 継続	授業力向上	全学年 国・算	年間	教科指導専門員を活用した若手教員の授業力向上	本人及び専門員からのヒアリング	満足度 100%			
3 新規	初期の読みの力の育成	1学年 国語等	年間	多層指導モデルMIMの実践、MIM－PM の実施及び個別の配慮計画に基づく特別支援教室と連携した個別指導の徹底	MIM－PM の実施（月ごと）	3rd児童の割合10%以下 （2月実施）			
4 新規	校内研究の実施	全学年 国語等	月1回	研究主任を中心に「読むこと」「書くこと」の改善や「探究」をテーマとして実施	自己申告 授業観察	研究に得られた知見を全ての教員が活用			
5 新規	教科担任制等の実施	全学年 一部教科	年間	一部教科担任制や学級担任間の授業交換による、授業の質の向上、各教科の専門性向上、多面的な児童理解の深化	学校評価アンケート 授業観察	「児童がすすんで学習に取り組むことができるように授業を工夫」 肯定的回答90%以上			

重点的な取組事項－2	安全・安心な学校づくりの推進

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
子供がより安全に、安心して学ぶことができる学校環境の整備	学校評価アンケート（以下の3項目）			

B 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1)安全な学校環境の整備	学校評価アンケート 「学校は、児童が安全に過ごせるように指導するとともに、施設、設備、体制を整備している」 肯定的回答 90%以上	①地域の災害リスクを踏まえた実践的な避難訓練、安全指導の充実、荒川の水害をテーマとした防災教育の実施 ②家庭・地域等の連携による登下校時の安全管理の充実 ③子供目線の安全点検の実施			
(2)健やかな心と体の育成	学校評価アンケート 「学校は、児童が運動に親しみ、体力が向上するように取り組んでいる」 肯定的回答 90%以上	①児童の実態を踏まえた体力向上の取組（元気アップタイム）の充実 ②歯みがきタイムの実施による歯みがきの習慣化、家庭への啓発			
(3)誰もが学び、生活しやすい環境の構築	学校評価アンケート 「学校は、誰もが学び、生活しやすい環境を整えようとしている」 肯定的回答 90%以上	①一部教科担任制等による多面的な児童理解に基づく生活指導の推進 ②「ユニバーサルデザイン」の視点を踏まえた学習環境の整備 ③いじめアンケートやWEBQUを効果的に活用した相談体制の充実 ④コミュニケーションの教室における個別指導・小集団指導の充実、在籍学級との連携強化 ⑤組織的な不登校への対応及び関係機関との緊密な連携			

重点的な取組事項－3	保護者や地域と共に子供を育む活動の充実

A 今年度の成果目標	達成基準	実施結果	コメント・課題	達成度
保護者・地域と連携した教育活動の充実	学校評価アンケート（以下の3項目）			

B 目標実現に向けた取組み

項目	達成基準	具体的な方策	実施結果	コメント・課題	達成度
(1)学校と保護者、地域との連携	学校評価アンケート 「学校は、保護者や開かれた学校づくり協議会との連携を深めようとしている」 肯定的回答 90%以上	①保護者や開かれた学校づくり協議会と連携した交通安全や花壇整備、学力向上等につながる取組等の充実 ②地域の人材・学習材を効果的に活用した取組の実践			
(2)情報発信の充実	学校評価アンケート 「学校は、保護者、地域に教育活動を参観したり報告したりする機会を適切に設けようとしている」 肯定的回答 90%以上	①学校ウェブサイトや C4Th Home & School による教育活動の積極的かつ定期的な配信 ②授業公開や保護者会等の実施の工夫 ③学校評価の実施及び報告の工夫			
(3)望ましい人間関係の構築	学校評価アンケート 「学校は、児童にとって楽しく充実した学校行事や活動を計画、実施している」 肯定的回答 90%以上	①「夢デザインシート」等を活用したキャリア教育の充実 ②異学年交流活動（ハロハロ活動）等の充実 ③学級活動やクラブ活動、学校行事等を通した、積極的に集団に寄与する態度の育成			